

平成30年度第4回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1 日 時：平成30年6月28日（木）
午後1時30分～4時50分
2 場 所：鹿島区役所大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員数】 11名

遠藤賢明、加藤栄伸、佐藤知子、西内千恵子、大内彰、櫻井義晴
星ちづ子、小倉聡美、濱名美代子、太田睦美、西みよ子

【欠席委員】 4名

多田和夫、松野豊喜、江袋大輔、森和浩

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

遠藤賢明会長が会議録署名人に櫻井義晴委員と小倉聡美委員を指名。

5 議事

(1) 報告事項

①平成30年度6月補正予算の概要について

○鹿島区地域振興課長

これより議事に入ります。進行は、遠藤会長にお願いします。

○遠藤会長

(1) 報告事項「①平成30年度6月補正予算の概要について」担当より説明を求めます。

○地域振興課長

資料に基づき概要説明

○遠藤会長

ただいま担当より説明がありましたが、質問等ありましたら挙手の上、指名しますので、発言をお願いします。意見はありますか。

(特に発言はなし)

では、発言は無いようですので、次の事項に進むことに異議ありませんか。

<異議なしの声>

○遠藤会長

では次に進みますが、その前にグループワークになるわけですね。

○地域振興課振興係長

はい。この後、地域ビジョンの関係でグループワークとなります。席をグループごとに分けたいと思いますので、若干時間をいただいて休憩をとりたいと思います。その間、事務局で机を配置したいと思います。二つのグループに分けますが、名前をお呼びしますので、そのグループで席をつくった際に、移動してもらう形になります。

まず一つのグループが、遠藤会長、西内委員、佐藤委員、大内委員、櫻井委員の私から見て左側に座っている方のグループ、もう1グループが、加藤副会長、星委員、小倉委員、濱名委員、太田委員、西委員の私から見て右側に座っている方のグループで2グループの配置をします。大変申しわけございません

が荷物を持っていただき、お待ちいただくことになりますのでご協力よろしく
お願いします。

○遠藤会長

では10分程度休憩をとります。

<休 憩>

(2) 協議事項

①鹿島区地域ビジョンの改定について

○遠藤会長

では続きまして、協議事項に入ります。「①鹿島区地域ビジョンの改定について」進めてまいります。担当より説明をお願いいたします。

○振興係長

〔 事前配布した資料2～5の内容の説明、及び本日のグループワーク
の進め方の概要について説明。グループは2つに分け、3つの柱ず
つ検討する。 〕

○小金澤氏

〔 資料5を中心に一通り事業に目を通し、グループ毎話し合いの中で
事業の優先度（特に推進すべき事業・次に推薦すべき事業・その他
行う事業）を検討し、模造紙に付箋を使って、意見を付け加えなが
ら発表してもらい。事業については削除を前提とするのではなく、
優先度を第1項目とし、その他に事業主体は誰か（行政・地域・個
人の個別または複合）を考える。発表に対し、もう一方のグループ
が意見や追加した方がよい事業等を意見するという進め方をする。 〕

<グループワークを概ね1時間40分行い、その後20分ほど発表>

○遠藤会長

それでは各班より発表をお願いいたします。まずは第1班お願いいたします。

〔 以下、質問や意見については、自由討論形式となったため、発言者が
不明なものもあり 〕

【発表】1班（遠藤会長、西内委員、佐藤委員、大内委員、櫻井委員）

○大内委員

第1班で取りまとめた内容を資料5に基づいて発表します。

「地域資源を活かす産業と交流のまち」づくりとして最重要だと挙げたのは、地場産業の支援のうち6次化を挙げました。（1）① 1）の「6次化等加工施設の建設」「特産物の付加価値を付ける」が関連するので、1つ挙げたところです。また、「鹿島区の美しい海岸線をPR」した方がいいのではないかという意見が出ました。この中には書いてないのですが、海岸の良さを再認識するという事で掲載しました。

2番目に重要なものとして、同じく（1）① 1）の「産品開発やおもてなしに関わる団体が展開している事業の協業化の推進」を挙げています。また、（1）④の「新規参入する事業者へ新店舗建設に係る土地購入費補助」、次は（3）① 3）の「宵祭りで大掛かりな盆踊りの実施」を挙げております。これは地域の大きな活性化につながると考えております。ぜひこういったこともやった方が良いのではないかと思います。

そして、3番目に重要なのが、これは時間がかかるのかなと思うのですが、（1）① 1）の「特産物に付加価値をつけ県内外にPR」をした方が良いのではないかと思います。（2）① 1）の「遊休地の再開」と3）の「害獣対策」も挙げております。以上です。

○加藤副会長

農林水産業の再興の中の梨ジュースのPRの件ですが、これは商工会でやってもらっていますが、今、梨農家1戸の梨を使ってジュースを作っており、鹿島全体でやっているわけではないです。それで、生産量が増えなければダメだということでやったのですが、そうすると味が違うという風になってしまいました。

○（女性委員）

それは、畑が違くと味が変わるということですか？

○加藤副会長

そういう話のようです。私も携わっているのでよくわかっているのですが、鹿島区一体でやってはどうかと言いましたが、量は充分なのですが、味がちょっとおかしいのではないかという話が出ました。普通は大概同じなのですが、畑毎で違うということで、PRというのもどうなのかなと。量的に増えれば価

格も安くなる。お土産にはならないかもしれないですが。

○遠藤会長

いま、商品として出しているということで、6次化と協業化もあって、作っている人と販売している人とPRを全部一体化という形で進めるのが一番良いと思います。その1軒だけやるというのもあるのですが、生産者から材料をもらって加工して販売しますというところまで全て一体化をする、それを県内外にPRしませんかということ、次に特産物に付加価値を付けてというのがありますが、みんなバラバラに書いてあるのですが、これをまとめて考えてはどうですかということ。たぶん、ここに梨のジュースも入るのではないかと考えます。

○大内委員

その他何か質問はありませんか。

○小倉委員

(1) ④ 1) の新店舗建設に係る土地購入費の補助と書いてありますが、街なかにある既存の空き店舗であったり、後継者がいなくて廃業していく店舗もあると思うので、その改装費用であるとか、借りて改装する場合でも補助金があるとよい。新店舗というと郊外の土地に求めて街なかが空洞化するので、逆に街なかにこういう補助金がありますよというPRがあればいいのかなと思います。

○遠藤会長

今の件について何かありますか。

○大内委員

今言っていた内容はこの中にはないですね。

○遠藤会長

当然空き家になっている事業所があり得るので、そういうところを整備して入るということも当然あり得ると思います。

○小金澤氏

空き店舗・空き家の活用という意見が出たので、後でこれを整理するということにしたいと思います。

○大内委員

その他何かありますか。

(特にない模様)

○大内委員

それでは次に「健やかに安心して暮らせるまち」づくりに入ります。

最重要事業として、(1) ① 1)「遊具の点検及び修理」ということで、特に子どもたちが遊ぶ場所で壊れているとか、改善しなくてはならないとか、そういうところはいち早く点検して改善した方がよいだろうということで重要であろうと考えました。それから「第1子からの出産祝い金の実施」について、今のところは2番目からということですが、1番目から交付した方がいいのではないかということで、人口増加ということだと語弊があるかもしれませんが、つながるのかなと考えます。それから「待機児童の解消」、これについてはどこでも問題になっているのですが、それを解消するのが最重要と考えます。それから「民生委員不足の解消」ということで、私も民生委員をやっておりますが、重要な課題として挙げました。

次に重要な事業としては、「(2) 健康づくり」について、現在進行中だと思います。やっちはいるのですが重要だと考えたため、あえて挙げております。それから「(3) 地域医療・介護の充実」、これも現在やっているということです。それから「(5) 福祉の充実」「②高齢者福祉の充実」も現在やっているということで、この3点を次に挙げております。

以上です。

○加藤副会長

私も民生委員になる人を当たっていますが、全体の問題ですね。

○大内委員

私も民生委員をしているからですが、昨年5月の新聞で、県内で南相馬市が一番民生委員が少ないという記事が出ておりました。鹿島区でも現在、2区、4区、寺内2つ、これらが不在となっており、そしてこれが区役所と協力しながら捜し歩いている、あるいは行政区長に頼んで推薦してもらおうということで、歩いているのですが、なかなかやってもらえない状況です。何か集まる時も民生委員さんの力を貸していただいて年寄りの方に出てきてくださいと言ったり、会費を集めたり、あるいは高齢者宅を回ったりとか、出来ていない地区があり

ます。万が一一人で倒れて助けてもらえなかったとか、見回りしなかったといういろいろな問題が出てくると思います。出来れば早急に民生委員を捜していただければと思います。

○遠藤会長

他に何かありますか。

無ければ次に進みます。

○大内委員

それでは次に「安全で災害に強いまち」についてですが、項目が少ないのですが、最重要ということで（３）① １）「消防団の充実」、これも団員が不足しております。何かあった時に大変な事態になりますので、少しでも団員を抽出していただきたいということで重要課題に挙げております。

それから（３）② ２）「鹿島区独自の備蓄倉庫」、災害があった時に備蓄倉庫があった方が鹿島地区として良いということで挙げております。これは入れる必要があると思いますので挙げております。

以上です。

○佐藤委員

同じ班でなんですが、一つ見落としてしまったのですが、（３）① ６）「夏まつりの再興」があります。

○大内委員

いま、ここに貼ってないもので見落としがあったので口頭で報告しますが、「夏まつりの再興」ということで、花火大会・ゲーム大会・盆踊りの開催、それからお見合い大作戦、ゆかたコンテスト、流しそうめん等、こういったものが課題として挙がっていたのですが、漏れてしまいました。

○小金澤氏

これはグレードとしてはどれになりますか？

○大内委員

これは１番です。

○遠藤会長

では次お願いします。

【発表】第2班

(加藤副会長、小倉委員、星委員、濱名委員、太田委員、西委員)

○小倉委員

まず「明るく環境にやさしいまち」について(1)①に挙がっているバイオマスモデルの推進が重要として、まずゴミ、市民の啓発と言いますか、「ゴミではなく資源」という意識づけで、どういうことをやってバイオガスになって自分たちの生活に還るのかというのを学ぶための見学の事業や、そのあたりを重点課題として挙げております。

その次が、将来的に高齢化が進む中で、自分たちの免許の返納がいずれ来るという考えの下で、デマンドタクシーの早期実現が2番目ということで挙げております。

公園作りというのが優先度の高いところと低いところに挙がっていますが、まず公園はどの程度の規模のものがいくつ、既存のものを活かすのかということが、(別の柱の)「健やかに安心して暮らせるまち」で「遊具の点検及び修理」という項目が出ていて、その中でどこまでの必要度があるのかで意見が分かれたところで、整備したところで遊ぶ子供がいるのか、人口の問題で意見が分かれたので重要度の高いところとそうでないところで意見が出たということです。

その他重要度ということではなく、我々がここで決められないのではないのかというのが、(3)① 1)「交通インフラの整備」、これは各地域で意見がそれぞれなので、この協議会では十分な意見はまとめられないのではないのかということで、道路行政の専門家に任せるということになりました。同様に、(5)の市営住宅の跡地利用のことについても、現在入居されている方がいるということ、老朽化が進んでいるとは言え、住んでいる人の家の周りを壊すのはなかろうということで、これもここ5年とか何年と期限を区切ったビジョンの中に入れるのは時期が早いのではないのかということで、優先度を我々の中では低からうということで、2点が挙がりました。

以上です。

○遠藤会長

何か質問はありますか。

無ければ次に移ります。

○小倉委員

続いて「地域に学び育つまち」について意見が挙がってきたのは、第一の柱の一番目の観光の部分にも関わってくるのですが、昔ながらの祭りの再興、地域の歴史について地域資源を活かした「神社めぐり」、三十三観音の地図の整備等の意見が出ました。その中で、地域を守っていくのはやはり子どもであることから、子ども、中学生・小学生に対し、授業の中やいろんな機会教えていくということで、真野小学校の万葉太鼓や、小学校の運動会で盆踊りを必ず踊るので、その時に盆踊りの踊り方をきちんと教えてほしい、また民謡に触れる機会を作してほしい等の意見が出ました。

それで、一つ気になったのは、土曜日等に先生等を派遣して地域でやったらいいのではないかという話がありましたが、その時間を設けて子どもたちを家から出してやるというのは親も大変なので、学校のカリキュラムに少しずつ組み込んでいくのが現実的なのではないかと思います。

あと、地域の文化財の発掘というのは、三十三観音の地図の整備に含まれるのかと思います。

それから、地域の大きな祭りとして相馬野馬追の後継者育成問題、また神楽の後継者育成が出ているのですが、神楽も地域行政区にいる人間でないと関われないという特性があるので、ここで後継者を作る作ると騒いでも難しい部分があるのではないかと思います。同様に野馬追も各家が継承してきている部分があるので、後継者を育てないといけないとここでも言っても、重要度は高いが、ここで言えるのかという意見が出たので、事情はそれぞれですが難しいということで一応挙げておきます。

以上です。

○大内委員

三十三観音めぐりについてですが、これは相馬から双葉までの間で、現時点では放射能関係で通れないところもあります。会津、中通りと浜通りで三十三観音めぐりということで交流を図っているようですが、出来ればこちらにも計画を通していただいて、活性化を図るということで挙げていただけるとありがたい。また、放射能関係が問題なくなって全部回れるようになればいいなと思います。

○遠藤会長

一つ前の柱になるのですが、先程交通と環境があって、防犯についてですが、今般富山の事件や少し前の京都の事件、新潟等、子どもさん等の近くで事件が起きて、そういう時に鹿島区内の防犯に対する施設があるのか、防犯カメラ等があるのか、なければそういうものの設置を促す、また防犯灯もだいぶ暗いと

ころもあるので、子どもたちの安心だけではなくて、大人も含めて安心安全のまちを構築していくために、そういう施策をとっていった方がよいのではないかと思います。

○小倉委員

そうすると、「明るく環境にやさしいまち」の（６）の①ですね。

「地域による見守り活動」が重点でしょうか

○遠藤会長

いま老人クラブとかでやってもらっている、朝晩の登下校のときに見守り隊みたいなもの、ただ見守り隊になった人が子どもを殺してしまった事件があってよほど気を付けなくてはならないのでしょうけど、朝のおはようございますや、帰りのさようなら等の声掛け運動、たぶん昔、中学校のＰＴＡで朝、おはようございますとやっていたような記憶があるのですが、今は小学校でやっているのでしょうか。

○小倉委員

小学校ではＰＴＡの保健体育委員さんが月に一度くらいやっています。

○遠藤会長

それを月に５回とか地域ぐるみでやってあげると防犯にもなると思います。

○小金澤氏

あいさつとか声掛けって非常に抑止力があります。ですから、皆さんで検討されて進めていただければと思います。

○小倉委員

ありがとうございます。他にございますか。

無ければ次の柱に進みます。

最後は「活力あふれるコミュニティのまち」ということで、挙がってきた内容としては、敬老会の話が多く出ました。昔は全体でやってきたのがいつの間にか分解されて行って行政区単位になったという話が出ていて、昔のように区全体で大きくやろうではないかという話になりました。それと同時に、１つ前の「地域に学び育つまち」の（２）③芸術文化にふれる機会の充実の中に、芸能大会というのが鹿島区であるのですが、芸能大会に出る方の人数が減ってい

るので、全体で行う敬老会にぶつけて、例えば同年代の踊りを頑張っているのを見るとか、小さなお子様がダンスで出るとか、三世代交流と敬老会と芸能発表会が一緒に出来たら、人が集まって賑わうのではないかという意見が出ました。同様に大運動会を行うとか、行政区ではこういうのをやっていますというのがいくつか出ています。さらに、花火大会・盆踊りをやってほしいというのが「活力あふれるコミュニティのまち」の中で出たのですが、観光交流の推進でも同じ話が出ていて、結局対外的にやるのか、住んでいる人が楽しむためにやるのかというところの線引きで大会を行う規模と計画のサイズがだいぶ変わるので、そのあたりの方向付けを検討する必要があると思いました。

その次に重要としたのが、高齢者が外に出る大会を開催するというのが出ています。これは結局、最重要度である運動会や敬老会に付随するものだと思いますが、こういうものが身近なところで多くあれば楽しいねという意見です。

以上です。

○遠藤会長

いま敬老会の件が出たのですが、「健やかに安心して暮らせるまち」の（５）福祉の充実の中に敬老会の実施という項目があります。今の話の中で、「活力あふれるコミュニティのまち」の方に混ぜてもらった方が良さだろうと、よってこちらの敬老会の実施を削除していただければと思います。

○小倉委員

はい、ありがとうございます。

○遠藤会長

先程の神楽の継承、野馬追の後継者の話ですが、私どもの小池行政区では獅子舞というのがありますが、それを継承する人がだんだん少なくなる、それは１３年に１回引き継ぐという昔からの習わしで来ていたのですが、だんだん人がいなくなってきた、今回いろいろな行事で踊ってほしいという要請に応えられませんとしました。いま保存会という１３年やったらやめるというのではなく、やっていた人は全員が残る、引き継いでいくんだという思いでいるのですが、たぶんそれはいろんな行政区にあると思います。それを行政で後押しをして、保存していつ、いま最後に発表する場所という話がありましたが、ただ演奏して終わりましたではなく、発表できる場というのが必要だと思います。そういうのを鹿島区全体で保存していくというような方向を検討してはと思いました。

○小倉委員

行政区ごとの保存会というのがあって、保存会同士の連絡というのはあるのでしょうか？

○遠藤会長

ないです。

○小倉委員

そこが構築できれば、鹿島区全体の力になっていくのかなと思います。

以上です。

○小金澤氏

質問ですが、神楽について私の住んでいる埼玉県川越というところは、町内で囃子連というものがあるのですが、同じようにお囃子をやる人間がいない状況です。どうしているかという、やりたい人が声をかけて町内の外から呼び込んでいます。それは川越では許されているのですが、こちらの方では町内ですとかコミュニティの中で、よその人がそこに交ざりたいという場合、受け入れることは出来るのでしょうか。難しいですか？

○遠藤会長

13年に1回、各家の長男に引き継いでいくということをずっと続けてきたらしいのですが、そうやって受けてきた人だけを集めてやっていくのかという、そこから先の話にはまだなっていません。塩崎や江垂、屋形にもあります。海老のお寺のお浜踊りについて、浜で芸能を見る機会があるのですが、ああいうがなくなってしまうのかなと、もったいないなと思っております。

○小金澤氏

連絡協議会という各地区の方々が連絡を取ることによって、お互い助け合ってカバーしていくというか、よそ者だとまずいとかいろいろご意見はあるのでしょうか、川越はもう背に腹は代えられないということで、とにかくやりたいという人が電車に来て、囃子連として祭りに参加するということがあります。

○遠藤会長

そういうことをしていかないとなくなってしまうという感じでしょうか？

○小金澤氏

保存をするということを最優先に考えたら、そういう方法もあったということです。

○遠藤会長

よさこいや何かも自分の地元でなく北海道でやったりとか。

○小金澤氏

今、盆踊り等を紹介する場を続けていってはどうかという意見がかなりあって、見せることによって参加したいという方が地域の中にも出てくる可能性があります。もう見る機会がなければ知る機会もないわけですから。そういった意味では皆さん熱心に活発な意見を出してまとめていただいたのですが、ざっと総括させていただきますと、現行の制度を直していくということも必要ですし、防犯の話も見直しをかけながら今地域でどういう体制が組めるか、やはり官民連携しないとどうにもならないということがありますので、そこは皆さんで、声の掛け合いもそうですが、そういったことで変わっていくのかなと思います。経済活動につきましては、6次産業は今後いろいろ考えていかななくてはならないところがあると思います。梨の話も興味深く拝聴しましたが、少し話が飛んでしまいましたが、ヨーロッパにワインがありますが、ワインは年によって、畑によって出来が異なり、味も違う。まあ味が違ってもいいのかなというのと、逆に日本人の性格からすると均一なもので確かなものでないともずいという、これも価値観の問題もあるかと思います。ですから、1つのお店で頑張るのもいいですし、競っていただいて後発のお店が出来てもいいのかなと、そういったところも含めて皆さんで考えていくべきで、今日話を伺って出てきたものの中には、即出来るなというものもありました。それで大事なのは誰がやるかということ、継続していくにはどういう仕組みを作っていくべきかということ、現在もあるのでしょうけれども見直さなければならない、大事なことは、継承する人たちがどうバトンタッチしていくかという形を作らなくてはならないと思います。

まだ市の方と話していないので私の勝手な見解になるのですが、おそらくこうやって挙がってきたメニューの中に、今後継続していくために皆さん、もしくは皆さんと親しい方を含めて、分野ごとにワーキンググループを作って、もっと若い、これからの世代を担っていくような方々を取り込んで、言ったからには責任を取ってもらえる方々を取り込んで、こういった諸問題を1つ1つ解決して行ってもらえるとかなり継続性のある、実現性のあることを皆さんの発

表いただいた中で感じました。これをまた事務局の方で皆さんの貴重なご意見を再整理して、次回再整理したものをまた皆さんにお諮りすることになると思います。今日は活発な意見を聞かせていただいてありがとうございました。

○振興係長

ありがとうございました。

ここで地域ビジョンについては終わりとしますが、その他全体的なところで何かご質問等あれば伺います。

今回いただきましたご意見は、事務局で整理した上で、来月に予定している地域協議会で再度まとめた案を見ていただきたいと思います。また具体的に意見をもらった区長さん等にも意見をいただく機会を設けながら、8月に最終案のまとめに向けて進めていきたいと事務局では考えておりますので、次回の協議会の中で話を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

この後、席を戻しますので、10分程度お時間を下さい。席は先程と同じ席にいたしますので、お荷物を持って頂ければと思います。

<休 憩>

○遠藤会長

それでは議事の方に進めていきたいと思えます。(3) その他に移ります。

「①南相馬市市民一体化復興促進基金の造成と実施事業について」に入りますが、これにつきまして担当よりご説明を求めます

○地域振興課長

資料に基づき概要説明

○遠藤会長

ただいま担当より説明いただきましたが、ご質問等があれば、挙手の上ご発言をお願い申し上げます。

○西委員

私は今回初めて地域協議会に参加させていただいたのですが、町のワークショップはただワークショップで終わればよかったのでしょうか。このワークショップは何のためになさったワークショップなのか教えていただきたい。正

直ワークショップで検討委員会は別に作るのでしょうか？そうしたら、今日のワークショップは発表会でしたか？この意味は何でしょうか、お伺いしたい。

○地域振興課長

本日のワークショップについては、鹿島区のビジョンをどういう風にしていったらいいのか含めてご検討をずっとしていると。前もお話ししましたように、平成 26 年度につくったビジョンの見直しをし、今後、市の総合計画の見直しに含めて、皆さんに出していただいた事業等について市の総合計画のほうに入れます。ただ、今ご説明している市民一体化事業については、この 2 年間で市民が一体となって、今後復興をしていく際に使える事業ということで分けており、皆さんにやっていたっている地域ビジョンについては、今後取りまとめた上、市長のほうに提案という形で、最終的にはつくっていくということで考えております。

○西委員

そうしますと、前回やった地域協議会の見直しのために私たちはいると、そういうふうに理解してよろしいですか？

○地域振興課長

そういうことではなくて、今後どういう事業をやっていけば鹿島区がよくなっていくか、鹿島区の課題は何なのか、そういうことを含めて、今後、長期間の間に取り組むものとして、ビジョンを作っていくということで今進めているところですが、26 年度にビジョンを作った時については、26 年の当時課題だったものをどうやって解決していくかということをつくったものであり、それを受けて今回は、今後、鹿島区で必要なもので、今課題となっているものをどうすれば解決していくかということをお検討していただいているということです。前の人のことをやっているではなくて、1 年 1 年経てばその課題とか問題が変わってくるわけですので、それを見直ししているという状況でございます。

○西委員

希望としましては、私たちも今生きているわけで、スピーディーに、私たちの意見も反映されるような地域協議会であってほしいと願います。

○遠藤会長

2 つのものを一緒に話しているから混同しているわけではないのでしょうか。

市民一体化というのと地域ビジョンというのと同じく考えてしまっているのではないのかと思うのですが、いかがでしょうか。

○西委員

そうではなくて、せっかく、こうやって大枚なお金と職員さんをかけて、ここで討議しているので、こちらの部分は直す部分、それからこちらの部分はこれからの鹿島のための部分ですよという棲み分けが何か、私自身もできていないし、市でもできていないような感じに、いつもモヤモヤとして終わるのが私は何か理解できない。この会議の進め方がこんなのでいいのかなと思って帰りますのでお伺いしました。

○地域振興課長

地域ビジョンについては計画をつくるということですので、皆さんの広く意見を求めて、時間は少しかかるかと思いますが、そういう形で積み上げをしていくということで今考えております。昨年度から、その見直しについて検討をしているので、それを今年の10月か11月までに正式なものを取りまとめた上で、最終的にこういう案ができましたということで提案をしていきたいと思っておりますのでご理解をいただければと考えております。

○遠藤会長

他にご意見等ありますでしょうか。

では発言がないようですので次に進んでよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

○遠藤会長

では、②の次回開催日程につきましては、星係長お願いします。

○振興係長

それでは次回の日程でございますが、7月24日火曜日の午後1時30分より、鹿島区役所の大会議室で行うことをご提案申し上げます。

○遠藤会長

ただいま説明いただきました日程案につきましてご異議はございませんか。

<異議なしの声あり>

○遠藤会長

では異議なしということで、7月24日に第5回目の地域協議会を開催したいと存じます。

それでは、これもちまして本日の議題はすべて終了いたしました。長時間にわたりましてご苦労さまでございました。

○地域振興課長

これもちまして、第4回の鹿島区地域協議会を終了といたします。お疲れさまでございます。お帰りの際は雨も降って参りましたので、交通事故等十分気をつけてお帰りいただければというふうに思います。本日はどうもありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会

長

遠藤 賢明

会議録署名人

櫻井 義晴

会議録署名人

小倉 聡美

謝爾雅

美韻急小